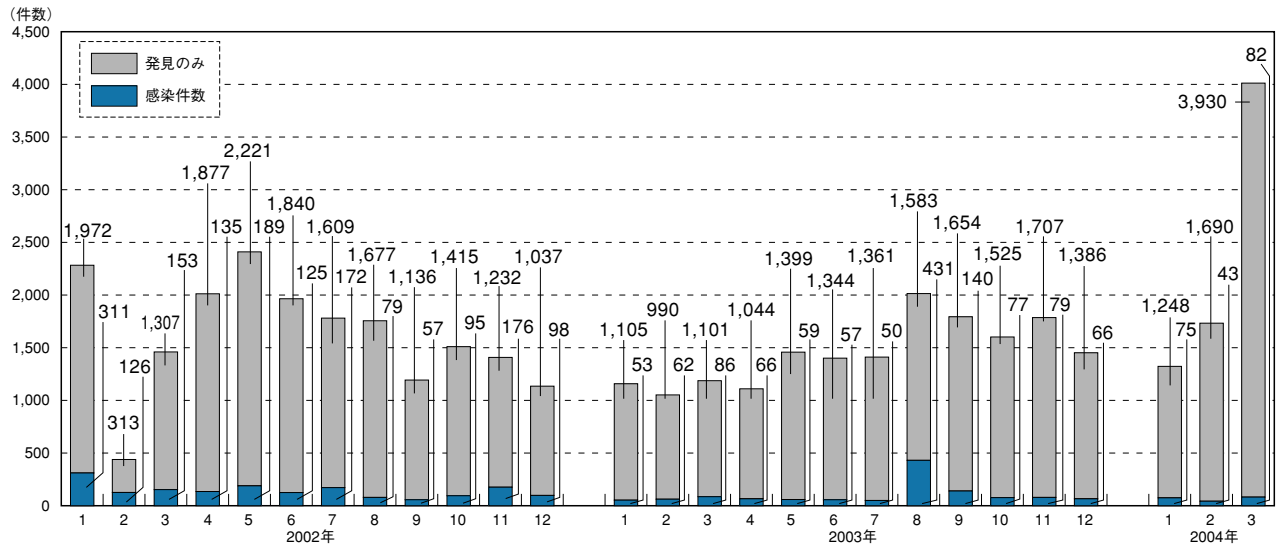


コンピュータウイルス

2003年は3年ぶりに2万件を下回ったが、2004年第1四半期に急増

資料7-3-9 コンピュータウイルス届出状況

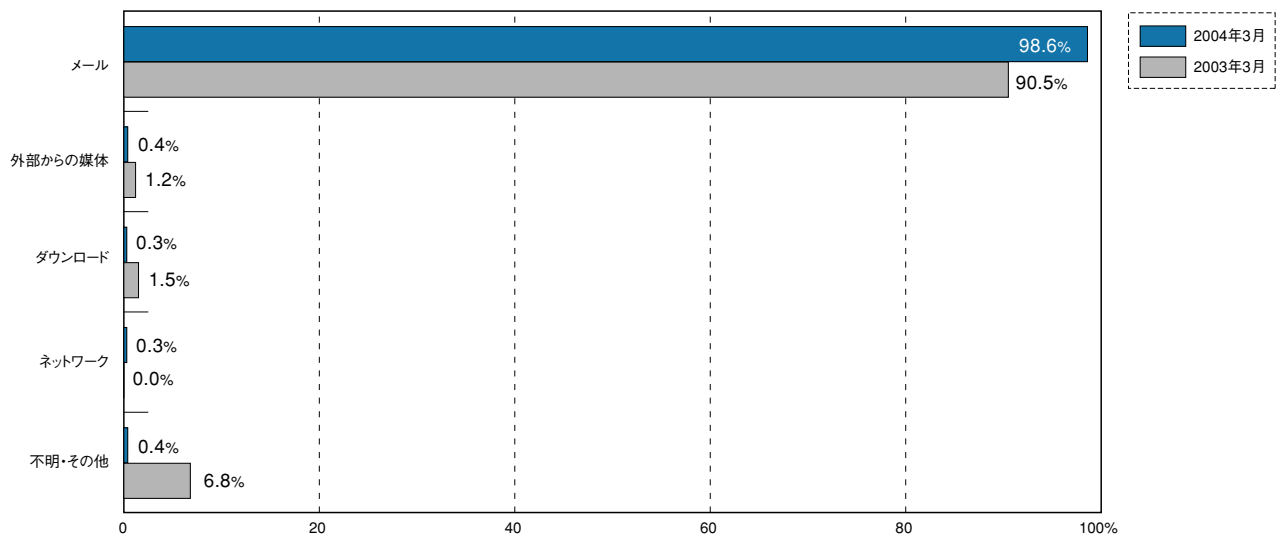


出所 IPA/ISEC「コンピュータウイルスの届出状況について」2004年4月

2003年はセキュリティホールを悪用するMSBlaster、Welchiaが猛威をふるったが、届出件数の年間合計は17,425件で、前年比15%減、3年ぶりに2万件を下回った。しかし、2004年第1四半期(1月～3月)は届出件数が急増して計7,068件に達し、前年第4四半期に比べ約45%増となった。1月にW32/Mydoom、3月にW32/Netskyなど、それぞれ複数の亜種が出現したことによる。

添付ファイルによる感染拡大が主流で、感染経路はメールが圧倒多数

資料7-3-10 感染経路



出所 IPA/ISEC「コンピュータウイルスの届出状況について」2004年4月

感染経路はメール（海外からのメール含む）が最も多く、2003年は91%、2002年は97.1%がメールによるものだった。2004年3月はメール経由感染が届出件数の98.6%と、とくに高い数値を示した。この月はメールの添付ファイルを介して感染を拡大するW32/Netskyの亜種が猛威をふるい、届出件数が急増している。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp